

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

第52回定期総会議案書



一般社団法人

山形県臨床検査技師会

2025

一般社団法人山形県臨床検査技師会

第 52 回定期総会

日 時：令和 7 年 6 月 14 日（土）13：30～

場 所：東京第一ホテル鶴岡（鶴岡市）

受 付 開 始 13：30

定 期 総 会 14：00

頭 彰 式 典 15：15

公 開 講 演 16：00

「 頭痛について～院内頭痛外来への取り組み～」

鶴岡市立荘内病院

内科系診療部長兼中央検査科長 丸谷 宏 先生

総会次第

1. 司会者挨拶
2. 開 会 挨 拶
3. 議 長 選 出
4. 議 長 挨 拶
5. 総会役員任命
6. 会 長 挨 拶
7. 資 格 審 査
8. 議 事

承認事項

- | | |
|--------|-----------------|
| 認第 1 号 | 令和 6 年度事業報告 |
| 認第 2 号 | 令和 6 年度会計決算報告 |
| 認第 3 号 | 令和 6 年度特別会計決算報告 |
| 認第 4 号 | 令和 6 年度監査報告 |

議 事

- | | |
|---------|----------------------------------|
| 第 1 号議案 | 令和 7 年度一般社団法人山形県臨床検査技師会事業計画（案） |
| 第 2 号議案 | 令和 7 年度一般社団法人山形県臨床検査技師会予算（案） |
| 第 3 号議案 | 令和 7・8 年度一般社団法人山形県臨床検査技師会役員改選（案） |
| 第 4 号議案 | その他 |

9. 議 長 解 任
10. 閉 会 挨 拶

顕彰式典

令和 7 年度一般社団法人山形県臨床検査技師会表彰

功劳賞

安孫子 浩	寒河江市立病院	
飛塚 潔	米沢市立病院	
渡會 通宣	独立行政法人山形県・酒田市病院機構	日本海総合病院
齋藤 裕紀	独立行政法人山形県・酒田市病院機構	日本海総合病院
鈴木 俊紀	国立大学法人山形大学医学部附属病院	

奨励賞

斎藤 亜里沙	社会福祉法人恩賜財団済生会	山形済生病院
古内 麻理	社会福祉法人恩賜財団済生会	山形済生病院

永年職務精励者表彰

武田 万知子	寒河江市立病院	
大久保 尚子	独立行政法人山形県・酒田市病院機構	日本海総合病院

令和6年度一般経過報告

新型コロナウイルス感染症の5類移行から1年が経過し、技師会活動もいわゆる「通常」に戻ってきていることは非常に喜ばしいことであります。一方コロナ禍で研修会や会議がオンラインで実施される機会が増えたことは周知の事実です。技師会活動においても対面が良いもの Web が良いものを上手に使い分け効率的な活動を迫られた一年であったと感じています。(一社)山形県臨床検査技師会の一年を振り返りますと6月1日(土)に第51回定期総会を置賜地区担当で開催しました。会員の皆様に令和6・7年度の新役員体制、事業計画、予算案を承認いただき、無事今年度の活動のスタートを切ることが出来ました。また、顕彰式典で功労賞、奨励賞表彰に続き、久しぶりに受賞記念祝賀会を開催できました。11月2日(土)に山臨技最大のイベントである、第43回山形県医学検査学会を村山地区担当で盛況に開催しました。一般演題題17題のほか『1度限りの限定復活!! Dr 金谷の心電図レクチャー「温故知新」～心電図学を通して臨床検査技師に伝えたい想い～』と題し、本町矢吹クリニック院長金谷透先生からご講演を賜りました。大いに盛り上がり非常に有意義な教育講演となりました。11月16日(土)に検査と健康展をイオンモール三川で開催しました。一般の方々との触れ合いを通じ、我々臨床検査技師の認知度向上につながる貴重な機会になっています。12月8日(日)に山形県立中央病院講堂において精度管理報告会を開催しました。精度管理においてゴールはないと考えますが精度管理報告会の無事終了が、各部門長はじめサーベイに携わる役員にとってちょっと一息の瞬間です。一年のほとんどを外部精度管理充実に注力いただいている部門長、部門員に改めて感謝申し上げます。

日臨技主催の研修会としてタスク・シフト/シェアに関する厚労省指定講習会を9月1日(日)に開催しました。現在まで山臨技会員から、のべ4回の同講習会で220余名の会員が修了しています(会員の約35%)。しかし日臨技の集計によると、同様に法改正がなされた診療放射線技師、臨床工学技士ら他のコメディカル職に比べ臨床検査技師の講習会履修(修了)が遅れています。来年の臨床検査技師養成校卒業生から自動的に臨床検査技師免許に付与されますが、それ以外の会員は講習会修了しない限り出来ない業務であり、施設の要請あるなしに拘らず、国家資格へ追加された業務という観点から自ずと全員終了を目指すことになります。

以下に各部、各地区、各委員会、各学術部門の活動報告が掲載されています。ご確認の上、ご承認いただきますようお願いいたします。

庶務部

1. 定期総会

1) 第51回定期総会開催

令和6年6月1日(土) 山形県市町村職員共済組合保養所 むつみ荘(南陽市)

公開講演

「認知症の基礎知識+α」

医療法人杏山会吉川記念病院

院長 御供正明 先生

2. 理事会の開催

理事会については、以下のごとく5回開催した。

- | | | |
|-----------|-----------------|------------|
| 1) 第1回理事会 | 令和6年 5月 1日(火) | 天童ホテル(天童市) |
| 2) 第2回理事会 | 令和6年 7月 29日(水) | WEB開催 |
| 3) 第3回理事会 | 令和6年 11月 26日(火) | WEB開催 |
| 4) 第4回理事会 | 令和7年 3月 27日(火) | WEB開催 |

業務執行理事会については、2回開催した。

- | | | |
|---------------|----------------|-------|
| 1) 第1回業務執行理事会 | 令和6年 7月 9日(火) | WEB開催 |
| 2) 第2回業務執行理事会 | 令和6年 9月 12日(火) | WEB開催 |

3. 日臨技(北日本支部含)、日臨技連盟関連会議

1) 令和6年度日臨技総会

令和6年6月22日(土) ステーションコンファレンス川崎

植木会長出席

2) 令和6年度日臨技理事会

- 第1回 令和6年 4月 27日(土) ステーションコンファレンス川崎
 - 第2回 令和6年 7月 27日(土) ステーションコンファレンス川崎
 - 第3回 令和6年 9月 28日(土) Lstay&glow 晴海
 - 第4回 令和6年 11月 16日(土) ステーションコンファレンス東京
 - 第5回 令和7年 1月 25日(土) 都市センターホテル「オリオン」
 - 第6回 令和7年 3月 22日(土) ステーションコンファレンス東京
- 植木会長出席 いずれも現地参加

3) 令和6年度北日本支部幹事会

- 第1回 令和6年 12月 13日(金) 北日本支部代表者会議 仙台市
 - 第2回 令和7年 2月 22日(土) 北日本支部幹事会 仙台市
- 植木会長出席

4. 山形県、山形市など関係会議

1) 山形県腎等臓器移推進機構植評議員会議

令和6年6月 書面決済 植木会長評決

2) 山形県精度管理専門委員会

令和 6 年 11 月 25 (月) 山形県精度管理専門委員会 WEB 会議

令和 7 年 1 月 30 (木) 山形県登録衛生検査所 1 施設立入検査

令和 7 年 1 月 31 (金) 山形県登録衛生検査所 2 施設立入検査

武田和子委員 (山形県選出) 佐藤直仁委員 (山臨技選出) 出席

3) 山形県精度管理専門委員会

令和 6 年 11 月 25 (月) 山形県精度管理専門委員会 WEB 会議

令和 7 年 1 月 30 (木) 山形県登録衛生検査所 1 施設立入検査

令和 7 年 1 月 31 (金) 山形県登録衛生検査所 2 施設立入検査

武田和子委員 (山形県選出) 佐藤直仁委員 (山臨技選出) 出席

4) 山形市精度管理専門委員会

令和 7 年 2 月 4 日 (火) 山形市登録衛生検査所 1 施設立ち入り検査

令和 7 年 3 月 3 日 (月) 山形市精度管理専門委員会総括会議

植木哲也委員 (山臨技選出) 加藤邦子委員 (山形市選出) 出席

5) 山形県生活習慣病検診等管理指導協議会

消化器 (胃がん・大腸がん) 部会

令和 7 年 3 月 10 日 (水) WEB 会議 安孫子郁美委員出席

婦人科 (子宮がん) 部会

令和 7 年 2 月 27 日 (木) WEB 会議 渡邊いづみ委員出席

肺がん部会

令和 7 年 3 月 18 日 (火) WEB 会議 鈴木俊市委員出席

5. 表彰

1) 第 51 回山臨技定期総会 (南陽市) にて表彰

功労賞

荒井 敏子 社会医療法人二本松会 山形さくら町病院

鈴木 靖政 社会福祉法人恩賜財団済生会 山形済生病院

松浦 由美子 庄内最上地区

戸塚 秀樹 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院

石森 圭 山形県立中央病院

伊藤 久美 医療生協やまがた 鶴岡協立病院

江口 由美 一般財団法人 三友堂病院

白田 美香 米沢市立病院

加藤 裕之 白鷹町立病院

奨励賞

田村 圭佑 国立大学法人 山形大学医学部附属病院

門間 紗季 山形市立病院済生館

永年職務精励者表彰

国分 明美	医療法人敬愛会 尾花沢病院
寒河江 典子	医療法人ゆうし会 南さがえ病院
洪間 優香	株式会社コーア
笹原 陽子	医療生協やまがた 鶴岡協立病院
庄司 律	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院

6. 山臨技ニュースの発行

令和 6 年 6 月 第 51 回定期総会について

令和 6 年 11 月 第 42 回山形県医学検査学会表彰、全国検査と健康展について

令和 6 年 12 月 山臨技精度管理報告会・県学会表彰式、会員手続きについて

会 計 部

1. 法人会計として、複式簿記による帳簿整理を行った。
2. 研修会及び会議の参加旅費、各事業への活動費等を予算どおりに執行した。

学 術 部

1. 第 43 回山形県医学検査学会

日 時 令和 6 年 11 月 2 日（土）

場 所 山形市 「山形ビッグウイング山形国際交流プラザ」

テーマ 『繋がれ、無限の飛躍へ』

内 容 教育講演 『1 度限りの限定復活!!Dr.金谷の心電図レクチャー「温故知新」～心電図学を通して臨床検査技師に伝えたい想い～』

講師 医療法人社団清永会 本町矢吹クリニック 院長 金谷 透 先生

ランチョンセミナー 4 社

企業 PR 7 社

一般演題 17 題 総参加人数 246 名

○学会学術賞 「当院における全ての日直担当者を対象としたグラム染色技能評価の取り組みについて」

山形県立新庄病院 山口 優花 技師

○若人奨励賞 「緊急輸血を考慮した AB 型 FFP 院内在庫数の検討」

公立置賜総合病院 西山 瑛絵 技師

2. 部門長・分野長合同会議

日 時 令和 6 年 5 月 25 日 (土)

場 所 山形ビッグウイング中会議室

協議議題 令和 6 年度学術部活動計画について
令和 6 年度部門別活動予算配分について
活動費の管理・会計について
研修会の持ち方について
精度管理・データ標準化委員会の取り組みについて
公益事業協力について
生涯教育研修制度について

3. 学術部会議

学術部員のグループメール等で情報共有し連携を図った。

4. 部門別検査分野事業報告

各部門とも部門長・分野長を中心に、積極的かつ思考を凝らした研修会を開催した。今年度は現地、web、ハイブリッドと多彩な形式にて開催を行った。また年度内 2 回目の研修会を開催する部門もあり研鑽の機会が増えた。全研修会参加人数は、のべ 333 名であった。各部門の研修会詳細は後掲載につき参照していただきたい。

5. 学術部主催研修会

令和 6 年度の学術部研修会は、第 43 回山形県医学検査学会が村山地区担当にて執り行い、準備を優先したため実施に至らなかった。

企 画 部

1. 全国「検査と健康展」の開催

日 時：令和 6 年 11 月 16 日(土)

場 所：イオンモール三川 1 階なの花コート

内 容：心電計のデモ波形で心電図の説明、エコー体験、顕微鏡標本説明、模擬尿検査
骨密度測定と結果説明、簡易貧血検査、簡易血管年齢検査、臨床検査技師の仕事を紹介する DVD の映写、パネル展示、日臨技提供のパンフレット配布、臨床検査技師養成学校パンフレット配布、オリジナル風船の配布、白衣試着など。

来場者数：約 200 名

実務委員数：24 名

2. 関連団体への助成

「山形医学検査」編集委員会

1. 「山形医学検査」の発行

- 1) VOL.33 No.2 令和 6 年 8 月 31 日発行（会員名簿との合冊として）
- 2) VOL.33 No.3 令和 6 年 10 月 18 日発行
（山形県医学検査学会講演抄録集および精度管理報告書の合冊として）
- 3) VOL.34 No.1 令和 7 年 2 月 28 日発行

2. 編集委員会の開催

令和 6 年度第 1 回編集委員会

日時: 令和 6 年 7 月 17 日 18 時 00 分～

場所: 山形済生病院 2 階 検体検査室

内容: VOL.33 No.2 の編集作業、企画

3. その他

国立国会図書館および医学中央雑誌への「山形医学検査」の送付を行った。

生涯教育研修委員会

1. 研修会及び生涯教育対象行事の JAMTIS への行事登録並びに参加者登録を行った。

- 1) 行事登録: 合計 17 件（基礎教科: 4 件、専門教科: 13 件）
- 2) 参加者登録: 合計 855 名（基礎教科: 271 名、専門教科: 584 名）
- 3) 自己申告による参加登録件数: 0 件

2. 日臨技推進研修会の申告並びに採用された研修会の報告書及び決算書の提出を行った。

申告: 13 件

3. JAMT を利用した研修会等の申し込みを開始した。

精度管理・データ標準化委員会

1. 精度管理事業

山臨技サーベイについては、各部門長をはじめとする会員皆様方のご協力を賜り大変有意義なコントロール・サーベイを実施することができた。実施項目については回答、入力、解析、評価、施設別報告書の開示を日臨技精度管理システム（JAMTQC）で行った。山形医学検査（精度管理報告書号）を第43回山形県医学検査学会講演抄録集と合冊で発刊した。精度管理報告会では多くの参加者を得ることができた。主な事業は以下の通りである。

令和6年5月10日 コントロール・サーベイ参加申し込み締め切り

令和6年6月30日 コントロール・サーベイ試料発送作業
 フォトサーベイCD発送作業 サーベイ試料測定・フォトサーベイ回答
 (JAMTQC入力期間7月1日から7月12日)
令和6年7月13日～ サーベイ解析・評価 (ホームページアップ含む)
令和6年11月1日 コントロール・サーベイ施設別報告書 (総括・統計)
JAMTQC上で開示、 精度管理報告書発行
令和6年12月08日 精度管理報告会開催 於：山形国際交流プラザ 大会議室 (161名参加)
令和7年 2月22日 令和7年度JAMTQC使用申請
令和7年 3月11日 日臨技受理・登録・継承作業完了
令和7年 4月 令和7年度コントロール・サーベイ参加申し込み案内

2. データ標準化事業

主な事業はなかった。

ホームページ委員会

1. 技師会主催研修会、各種団体研修会の情報提供を行った。
2. 各地区施設の採用情報提供や施設紹介を行った。
3. 山臨技ニュースや山形医学検査を掲載し、山臨技の情報発信を行った。
4. ホームページリニューアルに向けて、制作会社の選定など Web 会議を行った。

令和 6 年度学術部部門別検査分野活動報告

生 物 化 学 分 析 部 門

部門長(兼)臨床化学分析分野長

免疫検査分野長 佐 藤 大 亮

1. 生物化学分析部門研修会

部門長不在により、開催を見送った。

2. 山臨技臨床化学分析分野・免疫検査分野のコントロールサーベイ

臨床化学 28 項目について 7 月に実施した。参加施設は 60 施設で、回答率 100%であった。
集計並びに解析結果は、12 月 8 日 (日) の精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

部門会議：必要時にメールや電話で連絡を取り合った。

臨 床 生 理 機 能 部 門

部門長(兼) 超音波分野長
循環・呼吸生理分野長
神経生理分野長

風 間 知 之
岸 洋 介
樋 口 智 子

1. 臨床生理機能部門研修会

日 時 : 令和 7 年 2 月 15 日 (土)

会 場 : 会議アプリ Zoom による WEB 開催

内 容 : 講演 1. 「不整脈をいろんな角度でみてみよう ～EPS/ECG～」

日本海総合病院 検査部

遠田 有希 技師

講演 2. 「苦手克服！呼吸機能検査がちょっと好きになるコツ」

青森県立中央病院 臨床検査部

佐藤 舞 技師

【認定企画】「生理機能検査におけるキャリアデザインを考える」

～認定資格取得者から学ぶその極意～

講演 3. 「認定認知症領域検査技師」取得の極意

山形県立新庄病院 検査部

芳賀 真紀 技師

講演 4. 「乳房超音波技術認定」取得の極意

やまがた健康推進機構山形検診センター 検査係

阿部 明子 技師

講演 5. 「小児の脳波検査を学ぼう！～記録のコツから波形まで～」

岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部

高橋 広大 技師

研修会参加者

受講者 一般会員	59 名 (研修会終了後レポート提出者)
受講者 賛助会員	0 名
受講者 その他	0 名
講 師	5 名
実務委員	11 名

2. 山臨技サーベイの実施

循環・呼吸生理分野では心電図・呼吸機能検査サーベイ、超音波分野では腹部・心臓・血管領域の超音波検査サーベイ、神経生理分野では脳波検査サーベイによる精度管理を行った。令和 6 年 12 月 8 日 (日) の精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

部門会議：令和6年5月27日（月）ZoomによるWeb開催

4. その他、技師会共催学術事業

特になし

病 理 細 胞 部 門

部門長	鈴木 俊 市
細胞検査分野長	菊 地 功 祐
病理検査分野長	阿 部 光 展

1. 令和6年度山形県臨床検査技師会病理部門研修会

日 時：令和6年9月14日(土)

会 場：山形県立中央病院講堂

内 容

(1) 教育講演

「最新コンパニオン診断のトピックス」

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社プロフェッショナル本部

フィールドサイエンティストチャプターPL サブチャプター 大村晃永 先生

(2) 特別企画

「当院の病理部を紹介します-意外と知らない他施設のこと-」

＊他施設病理部のことを知り、その職員と交流をはかることで、県内同業者間の繋がりが強固なものとなることを期待して企画しました。山臨技病理部門員が所属している施設を中心に、若手～中堅の病理技師にそれぞれの施設の使用機器やスタッフの現状や長所、困っていることなどを発表してもらい、最後にシンポジウム形式でざくばらんに討論してもらいました。コロナ禍に入職した若手の顔を知る機会にもなりました。

公立置賜総合病院	坂野 新 技師	米沢市立病院	大河原飛鳥 技師
鶴岡市立荘内病院	鈴木 智由 技師	日本海総合病院	石川 輝 技師
山形県立中央病院	五十嵐光紅 技師	山形市立病院済生館	矢矧みどり 技師
山形済生病院	古内 麻理 技師	山形県立新庄病院	鈴木 理彩 技師
東北中央病院	菊地 功祐 技師		
山形市医師会健診センター	佐藤 秀樹 技師		
山形大学医学部附属病院	鈴木あゆみ 技師		

参加者 24 名 実務委員 4 名

(3)令和 6 年度山形県臨床検査技師会病理部門フォトサーベイ解説

病理組織分野 山形県立中央病院 阿部光展 技師

細胞検査分野 東北中央病院 菊地功祐 技師

(4)令和 5 年度実施病理部門実技サーベイ(病理組織・細胞)報告

鶴岡市立荘内病院病理科 鈴木俊市 技師

2. 山臨技サーベイの実施

病理検査分野、細胞検査分野ともに JAMTQC を利用したフォトサーベイを施行し、2024 年 12 月の精度管理報告会で詳細な報告が行われた。また、回答回収が遅れて 2023 年の精度管理報告会に間に合わなかった 2023 年実施の実技サーベイについては、2024 年 9 月に実施した部門研修会で報告した。

3. 部門会議の開催

第 1 回部門会議：令和 6 年 5 月 30 日 会議アプリ ZOOM(部門員)

その他必要に応じて、グループ LINE などでの情報交換を行った。

4. その他、技師会共催学術事業

(子宮の日) 子宮頸がん検診啓発活動 (日本臨床細胞学会山形県支部との共催)

令和 6 年度も街頭活動は行わず、県内の大学等に子宮がん検診啓発のパンフレットなどを送付した。

日本臨床細胞学会山形県支部総会・学術集会 (日本臨床細胞学会山形県支部と共催)

日 時 : 令和 6 年 7 月 13 日(土)

場 所 : 山形県立中央病院講堂

成人病検診従事者(細胞診)講習会 (日本臨床細胞学会山形県支部と共催)

日 時 : 令和 6 年 11 月 30 日(土)

場 所 : 山形県立中央病院講堂

臨 床 一 般 部 門

臨床一般部門長 安孫子 郁美

1. 一般部門研修会の開催 (大腸がん検診従事者講習会)

日 時 : 令和 7 年 2 月 15 日 (土)

会 場 : 山形大学医学部第一講義室

内 容 :

会員発表

演題名『UF-5000 体液モードによる髄液細胞数算定および細胞分画の有用性』

演 者 山形大学医学部附属病院 阿部 柊真 技師

演題名『尿一般分析装置の搬送連結導入による機器更新の効果』

演 者 山形大学医学部附属病院 阿部 紗也加 技師

演題名『尿沈渣中のシュウ酸カルシウム結晶が診療に有用であった

エチレングリコール中毒の一例』

演 者 山形大学医学部附属病院 佐藤 美由紀 技師

メーカー講演

『便潜血検査 up-to-date 検体採取と保管・カット値を中心に-』

『尿生化学検査の使い分けとピットフォール』

講 師 栄研化学株式会社 販売推進室 阿部 雅仁 氏

講演

『こどもって？腎臓って？』

講 師 医療法人社団 まつながキッズクリニック 理事長 松永 明 先生

『これだけは知ってほしい！実臨床における病態把握アシスト成分と報告所見』

講 師 新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科 教授 横山 貴 先生

研修会参加者

受講者 一般会員	23 名
受講者 賛助会員	4 名
受講者 その他	0 名
講 師	2 名
実務委員	4 名
合計	33 名

2. サーベイの実施

尿沈渣成分フォトサーベイ、便潜血検査サーベイ及びアンケート調査を行い、12月8日（日）精度管理報告会にて報告を行った。

3. 部門会議の開催

第一回部門会議：令和6年6月29日（土）Web 開催（会議アプリ ZOOM にて）

4. その他、技師会共催学術事業

開催なし

臨床血液部門

臨床血液部門長 結城 智嗣

1. 臨床血液部門第1回研修会

日時：令和6年11月16日（土）

会場：山形大学医学部

内容：末梢血液像および骨髓像の鏡検実習

講義

顆粒球系の分化成熟について

山形大学医学部附属病院

結城 智嗣

単球 VS. 異型リンパ球

山形市立病院済生館

阿部 まゆみ

症例解説

CBFB-MYH11 を伴う急性骨髄性白血病

山形市立病院済生館

阿部 まゆみ

多発性骨髄腫、急性リンパ性白血病

山形県立中央病院

田中 喜和

有毛細胞白血病

山形大学医学部附属病院

結城 智嗣

鏡検実習

基礎コース 3 グループ（各4～5名構成）

慢性骨髄性白血病、伝染性単核球症の末梢血標本を鏡検

疾患コース 3 グループ（各4～5名構成）

症例解説した4疾患の末梢血および骨髓標本を鏡検研修会参加者

研修会参加者

受講者 一般会員 25名

受講者 賛助会員 0名

受講者 その他 0名

講師 0名

実務委員 8名

2. 臨床血液部門第2回研修会

日時：令和7年2月1日（土）

会場：Web開催（会議アプリ ZOOM）

内容：

講演1

「凝固検査を読み解くために ～報告までのステップアップを考えて～」

山形大学医学部附属病院

結城 智嗣

技師

講演2

「見逃してはいけないこのデータ、この細胞 ～臨床に貢献する次の一手～」

順天堂大学医学部附属浦安病院

澤田 朝寛

先生

研修会参加者

受講者 一般会員 18名

受講者 賛助会員 0名

受講者 その他	0 名
講 師	1 名
実務委員	1 名

3. 山臨技サーベイの実施

CBC（6 項目）サーベイおよびフォトサーベイを 7 月に実施した。フォトサーベイは 11 問（すべて評価対象）を実施し出題した。12 月に精度管理報告会にて報告を行い、その報告書を山形医学検査に投稿した。

4. 部門会議の開催

第一回：令和 6 年 7 月 2 日（火）

その他、必要時にメール等で連絡を取り合った。

5. その他、技師会共催学術事業

山形血液検査セミナー2024

日時：令和 6 年 7 月 26 日（金）

場所：バイタルネット山形支店（ハイブリッド開催）

臨 床 微 生 物 部 門

臨床微生物部門長 鈴木 裕

1. 臨床微生物部門研修会

日 時：令和 6 年 10 月 19 日（土）

会 場：山形県立中央病院 講堂

内 容：

学会発表レビュー

第 35 回日本臨床微生物学会発表演題

同定に苦慮した *Gordonia sputi* による腹膜透析関連腹膜炎の一例

日本海総合病院 臨床検査部 成澤 祐生 技師

同定に苦慮した *Aureimonas ureilytica* による菌血症の 1 症例

鶴岡市立荘内病院 中央検査科 大塚 隼人 技師

第 73 回日本医学検査学会発表演題

当院の長期間にわたる非結核性抗酸菌の分離状況および薬剤感受性の推移

山形県立中央病院 検査部 阿部 智哉 技師

メーカー講演「嫌気性菌検査の基礎」

極東製薬工業株式会社 営業学術部 中間 慎哉 先生

特別講演 次世代の微生物検査を担う若手リーダーシリーズ①

「AS・DS といわれていますが...さあ、どうする!？」

～治療につなげる微生物検査の実践～

パナソニック健康保険組合 松下記念病院 臨床検査技術室 大友 志伸 先生

研修会参加者

受講者 一般会員	25 名
受講者 賛助会員	9 名
講 師	2 名
実務委員	6 名

2. 山臨技サーベイの実施

試料 1 では菌の同定、試料 2 では菌の同定と感受性試験について出題し、正答率は許容正解も含めると 100%であった。フォトサーベイは 5 題出題し、許容正解も含めて正答率は 100%以上であった。ただし、うち 1 問は回答選択肢の設定が適切でなかったため評価対象外とした。

左記について、令和 6 年 12 月 8 日（日）に開催された精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

第 1 回：令和 6 年 5 月 29 日（水）（会議アプリ ZOOM）

令和 6 年度の活動方針について話し合った。

第 2 回：令和 6 年 10 月 19 日（土）（研修会開始前昼食時）

次年度の活動構想について話し合った。

輸 血 細 胞 治 療 部 門

輸血細胞治療部門長 木村 俊平

1. 輸血細胞治療部門研修会

日 時：令和 6 年 11 月 23 日（土）

会 場：山形大学医学部学生実習講義棟 第一講義室

内 容：

講演Ⅰ「医療機関から血液センターへの問い合わせ内容について」

山形県赤十字血液センター 藤澤 尚子 先生

講演Ⅱ「血液型検査における予期せぬ反応と対応」

アイ・エル・ジャパン株式会社 八木 良仁 先生

講演Ⅲ「不規則抗体検査における予期せぬ反応と対応」

株式会社カイノス 丸橋 隆行 先生

研修会参加者

受講者	一般会員	26 名
受講者	賛助会員	3 名
講 師		3 名
実務委員		6 名

2. サーベイの実施

検体Ⅰ（赤血球①、血漿②）－ABO,RhD 血液型、不規則抗体検査

検体Ⅱ（赤血球③、血漿④）－ABO,RhD 血液型、不規則抗体検査

（赤血球⑤⑥⑦）－交差適合試験

凝集反応の判定(赤血球⑧、血漿⑨⑩)－凝集の強さ、抗体価測定

設問は、例年通り①ABO・RhD 血液型、②不規則抗体スクリーニング・抗体同定、③交差適合試験、④凝集反応の強さ・抗体価測定とした。

12 月の精度管理報告会で報告を行った。

3. 部門会議の開催

第 1 回：令和 6 年 6 月 27 日（木）（Web 会議）

第 2 回：令和 6 年 10 月 16 日（水）（Web 会議）

4. その他、技師会共催学術事業

看護師と臨床検査技師会の合同学習会（山形県合同輸血療法委員会看護師部会主催）

日 時：令和 7 年 2 月 12 日（水）（Web 研修会）

臨 床 検 査 総 合 部 門

臨床検査総合部門長 諏訪 しのぶ

1. 臨床検査総合部門研修会

日 時：令和 6 年 10 月 5 日（土）13 時～16 時 10 分

会 場：Web 開催（会議アプリ ZOOM）

テーマ：「最近の話題について」

内 容：

1. 講演 1「令和 6 年度能登半島地震置賜 DMAT 出動報告」

置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院

岸 洋介 先生

2. 講演 2「臨床検査技師教育カリキュラムの変更点と臨地実習に対する病院の対応」

弘前大学大学院 保健学研究生体検査科学領域

上野 大 先生

研修会参加者 35名（講師を含めない）

受講者	一般会員	35名
受講者	賛助会員	0名
受講者	非会員	0名
講師		2名
実務委員		2名

2. 部門会議開催

第一回：令和6年4月26日（金）

第二回：令和6年10月4日（金）

第三回：令和6年10月5日（土）

昨年度の振り返りと今年度の活動計画（第一回）、部門研修会の打合せ（第二～三回）という目的で行った。すべてweb開催とした。

染 色 体 ・ 遺 伝 子 部 門

染色体・遺伝子部門長 大塚 隼人

1. 臨床血液・染色体遺伝子部門合同研修会

日 時：令和7年1月13日（土）

会 場：Web開催（Zoom）

内 容：造血器腫瘍の遺伝子検査

講演Ⅰ「Major bcr-abl mRNA キット Ipsogen BCR-ABL1 Mbc IS-MMR DX 試薬の概要」

シスメックス株式会社 仙台支店 学術サポート課 丸木 佳子 先生

講演Ⅱ「FLT3 変異陽性 AML と FLT3 阻害剤ギルテリチニブについて」

アステラス製薬株式会社 船城 庸一郎 先生

特別講演「遺伝子検査を行うために大切なこと～造血器腫瘍の遺伝子検査を含む～」

筑波大学附属病院 検査部 技師長 南木 融 先生

研修会参加者

受講者	一般会員	11名
受講者	賛助会員	2名
受講者	その他	8名
講師		3名
実務委員		3名

2. サーベイの実施

県内施設における SARS-CoV2 遺伝子検査の実施状況を考慮し、試料を用いたサーベイは実施せず、遺伝子検査に係る動画問題 1 問と文章問題 5 問（いずれも選択式）を出題した。試験的項目のため全問評価対象外とした。回答施設は 21 施設で、正答率は概ね良好であった。集計並びに設問解説は、令和 6 年 12 月 8 日（日）の精度管理報告会にて報告した。

3. 部門会議の開催

第 1 回：令和 6 年 5 月 13 日（火）17:30~18:15（Web 会議）

令和 6 年度 三地区活動報告

村山地区

1. 地区役員会

- 1) 第 1 回役員会 5 月 10 日（金）天童ホテル
 - ・ 理事会報告
 - ・ 第 43 回山形県医学検査学会（村山地区担当）打ち合わせ

2. 地区研修会

開催無し

3. 第 43 回山形県医学検査学会の開催準備

- 1) 実行委員会 第 1 回 6 月 28 日（金）山形ビッグウイング、その他月一回程度開催
 - ・ 開催会場・日時の検討、役割分担決定

4. 第 43 回山形県医学検査学会の開催

- ・ 参加者数 246 名（村山地区 110 名）

庄内・最上地区

1. 地区役員会

- 1) 令和 6 年度第 1 回庄内最上地区役員会（地区監事 10 名参加）

令和 6 年 6 月 5 日（水）17:30～

会議アプリ Zoom にて開催

- ・ 令和 6 年度 年間計画（地区研修会について）
- ・ その他

2. 地区研修会

1) 令和 6 年度第 1 回庄内最上地区研修会

令和 6 年 10 月 12 日 (土曜日)

会場： 山形県立新庄病院 大会議室

① 講演： 「レントゲン/CT/MRI の読み方について」

講師： 鶴岡市立荘内病院 放射線画像センター副技師長 齋藤光典 先生

② 新病院見学会

移転新築した新庄病院の主に検査室を見学

一般参加者： 23 名 実務委員： 13 名 講師： 1 名

2) 令和 6 年度第 2 回庄内最上地区研修会

令和 7 年 2 月 15 日 (土)

会議アプリ Zoom を利用した WEB 研修会

講演： 「心の病と職場での対応。公認心理士のお仕事について」

講師： 鶴岡市立荘内病院 診療部主幹 公認心理士 柏倉貢 先生

一般参加者： 12 名 実務委員： 8 名 講師： 1 名

3. (一社) 山形県臨床検査技師会への協力事業

「全国検査と健康展」が令和 6 年 11 月 16 日(土)にイオンモール三川にて開催されたため、
庄内・最上地区役員・会員が実務員として協力した。

置賜地区

1. 地区役員会

1) 令和 6 年度第 1 回置賜地区役員会

令和 6 年 12 月 23 日 (月)

公立置賜総合病院 研修室 3A・B 18:00~

・ R6 年度第 1 回置賜地区研修会について

・ R7 年度県学会について

・ その他

2. 地区研修会

1) 令和 6 年度 冬期置賜地区研修会

令和 7 年 2 月 22 日 (土)

南陽市むつみ荘 15:00~

○第 43 回山形医学検査学会演題レビュー

1 緊急輸血を考慮した AB 型 FFP 院内在庫数の検討

公立置賜総合病院 西山 瑛絵

2 食道癌術後患者の心電図で前胸部誘導に不規則な基線の揺れを認めた一例

公立置賜総合病院 堀 晶美

3 当院の NST における臨床検査技師の役割

公立高畠病院 高梨 恵実

4 薬剤性血小板減少症が疑われた 1 例

公立高畠病院 遠藤 美鈴

5 当院で経験したアグレッシブ NK 細胞白血病の 1 症例

公立置賜総合病院 梅津 真人

○講演「血液検査に従事する臨床検査技師としての心得～血算、形態を中心に～」

講師 志賀 修一 先生

令和6年度会計決算報告

(収入の部)

1. 会費収入

会員会費：令和6年度に入金した会員数は641名、4,487,000円であった。

賛助会員会費：41社、820,000円であった。

2. 入会金収入

入会金：令和6年度に入金した会員数は22名、22,000円であった。

賛助会員：0名であった。

3. 事業収入

広告料：会誌広告12社で324,000円、学会広告11社で270,000円であった。

会場整理費：383,500円であった。

部門研修会参加費96,500円、地区研修会参加費33,000円、県学会参加費254,000円、精度管理報告会参加費0円であった。

精度管理事業費：精度管理参加費150,000円であった。

助成金：1,085,500円であった。

日臨技より生涯教育推進研修会助成金585,500円、全国「検査と健康展」への助成金500,000円であった。

4. 寄付金収入

寄付金はなかった。

5. 雑収入

預金利子：1,549円であった。

雑収入：日臨技議決権行使書回収委託費44,200円、定期総会（寸志）30,000円、学会雑収入15,300円であった。

6. 事務所維持、取得積立金収入：6,351,278円であった。

7. 前期繰越収支差額

令和5年度の繰越金は2,520,605円であった。

令和6年度の収入は1～6までの合計13,984,327円に繰越金を加え、16,504,932円となった。

(支出の部)

1. 事業費

1) 衛生思想の普及及び啓発

(1) 衛生思想普及啓発事業費：村山地区34,090円、庄内最上地区120,758円、置賜地区114,898円であった。

2) 臨床検査技術を通じ、保健事業、健康維持・増進事業への協力

(1) 地域保健事業費：623,540円で、主な経費は臨床検査展である。

3) 臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析

(1) 精度管理事業費：1,036,540 円で、主な経費は精度管理試料代と、報告会経費である。

4) 臨床検査に関する学術研究、研修及び広報活動

(1) 学術研究事業費：2,541,133 円で、主な経費は部門の研修活動費と学会費である。

(2) 生涯教育研修事業費：119,572 円で、主な経費はタスクシフト講習会である。

5) 機関誌及び会報の発行

(1) 会誌事業費：1,860,948 円で、山形医学検査の印刷費、編集委員会費用である。

6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

2. 管理費

管理費は 4,820,023 円を支出した。

給与手当費：事務員賃金である。

福利厚生費：慶弔費、見舞金である。

会議費：主な経費は定期総会関連費である。

通信費：郵送代やネット使用料である。

印刷費：主な経費は総会議案書印刷費である。

交通費：主な経費は理事会および各事業における交通費である。

顕彰費：県技師会表彰経費である。

広告宣伝費：新聞等による広告費である。

消耗品費：事務消耗品費である。

支払手数料：会計事務所顧問料、振込等に関わる手数料である。

雑費：会誌の発送費、他諸費用である。

3. 事務所維持、取得積立金支出：事務所維持会計へ 300,000 円出金した。

4. 備品購入積立支出：支出はなかった。

5. 予備費：支出はなかった。

以上により支出は 10,136,777 円となった。

当期収支差額は 3,847,550 円となった。

昨年度の繰越金は 2,520,605 円、次年度への繰越金は、6,368,155 円となる。

令和6年度 一般社団法人山形県臨床検査技師会収支計算書

収入額	16,504,932	円	自 令和 6年4月 1日
支出額	10,136,777	円	至 令和 7年3月31日
差引額	6,368,155	円	

収入 (単位:円)

科 目	6年度予算額	6年度決算額	増 減	備考
1.会費収入	5,200,000	5,307,000	107,000	
会員	4,340,000	4,487,000	147,000	641名×7,000円(6名分未収)
賛助会員	860,000	820,000	△ 40,000	41口×20,000円(1社未収、R7.4月入金済)
2.入会金収入	15,000	22,000	7,000	
会員	15,000	22,000	7,000	22名×1,000円
賛助会員	0	0	0	
3.事業収入	2,350,000	2,213,000	△ 137,000	
広告料	650,000	594,000	△ 56,000	会誌広告料
会場整理費	500,000	383,500	△ 116,500	学会・研修会参加費など
精度管理事業費	100,000	150,000	50,000	精度管理参加費
助成金	1,100,000	1,085,500	△ 14,500	公益目的事業、生涯教育助成金
4.寄付金収入	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
5.雑収入	20	91,049	91,029	
預金利子	20	1,549	1,529	
雑収入	0	89,500	89,500	議決権行使回収委託費、寸志他
6.事務所維持、取得積立金収入	1,000,000	6,351,278	5,351,278	ゆうちょ、ろうきん定期貯金より繰入(利息含む)
当期収入合計	8,565,020	13,984,327		
7.前期繰越収入差額	2,520,605	2,520,605	0	
前期繰越収入差額	2,520,605	2,520,605	0	
収入合計	11,085,625	16,504,932	5,419,307	

支出 (単位:円)

科 目	6年度予算額	6年度決算額	増 減	備考
1.事業費	5,337,000	5,016,754	△ 320,246	
1)衛生思想の普及及び啓発				
(1)衛生思想普及啓発事業費	235,000	199,416	△ 35,584	
会議費	50,000	34,701	△ 15,299	
活動費	175,000	154,095	△ 20,905	地区運営費
事務費	15,000	19,146	4,146	
通信費	10,000	2,140	△ 7,860	
材料費	0	0	0	
研修費	100,000	60,419	△ 39,581	三区連携強化費
諸謝金	50,000	72,390	22,390	
印刷費	5,000	5,500	500	
雑費	5,000	5,120	120	
2)臨床検査技術を通じ、保健事業、健康保持・増進事業への協力				
(1)地域保健事業費	225,000	519,498	294,498	
会議費	25,000	21,000	△ 4,000	
活動費	140,000	350,328	210,328	臨床検査展
事務費	10,000	0	△ 10,000	保健事業連携強化費
通信費	10,000	4,070	△ 5,930	
材料費	100,000	0	△ 100,000	
研修費	10,000	346,258	336,258	
諸謝金	10,000	0	△ 10,000	
講習会(日臨技より各県)	0	0	0	
負担費	50,000	70,000	20,000	関連団体協賛費 講習会補助
印刷費	0	0	0	
雑費	10,000	78,170	68,170	
3)臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析				
(1)精度管理事業費	1,268,000	949,050	△ 318,950	
会議費	5,000	0	△ 5,000	
活動費	1,250,000	941,790	△ 308,210	
事務費	40,000	3,448	△ 36,552	
通信費	30,000	4,384	△ 25,616	
材料費	1,000,000	801,158	△ 198,842	サーベイ試料
研修費	170,000	96,800	△ 73,200	精度管理報告会
諸謝金	10,000	36,000	26,000	
印刷費	3,000	0	△ 3,000	
雑費	10,000	7,260	△ 2,740	

科 目	6年度予算額	6年度決算額	増 減	備考
4) 臨床検査に関する学術研究、 研修及び広報活動	1,984,000	1,488,282		
(1) 学術研究事業費	1,880,000	1,373,210	△ 506,790	
会議費	50,000	0	△ 50,000	学術部部門分野長会議
活動費	610,000	339,789	△ 270,211	部門分野活動費
事務費	100,000	36,760	△ 63,240	学術部門連携強化費
通信費	10,000	6,534	△ 3,466	
材料費	200,000	0	△ 200,000	
研修費	100,000	117,044	17,044	
諸謝金	200,000	179,451	△ 20,549	
学会費	1,200,000	1,010,331	△ 189,669	県学会
印刷費	19,000	1,016	△ 17,984	
雑費	1,000	22,074	21,074	
(2) 生涯教育研修事業費	104,000	115,072	11,072	
会議費	2,000	0	△ 2,000	
活動費	102,000	114,852	12,852	
事務費	1,000	242	△ 758	
通信費	1,000	0	△ 1,000	
材料費	0	0	0	
研修費	80,000	114,610	34,610	タスクシフト講習会会費補助
諸謝金	20,000	0	△ 20,000	
印刷費	0	0	0	
雑費	0	220	220	
5) 機関誌及び会報の発行				
(1) 会誌事業費	1,625,000	1,860,508	235,508	
会議費	15,000	13,546	△ 1,454	
活動費	10,000	10,512	512	
事務費	5,000	7,056	2,056	査読料
通信費	5,000	3,456	△ 1,544	
材料費	0	0	0	
研修費	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
印刷費	1,600,000	1,836,450	236,450	山形医学検査
雑費	0	0	0	
6) その他本会の目的を達成する ために必要な事業				
2. 管理費	5,740,000	4,820,023	△ 919,977	
給与手当	1,000,000	372,250	△ 627,750	事務員給与
福利厚生費	30,000	10,000	△ 20,000	慶弔費、見舞金
会議費	250,000	287,170	37,170	三役会議、理事会、総会費
通信費	500,000	253,935	△ 246,065	挨拶状、切手、郵送費、ネット使用料
災害システム構築費	20,000	0	△ 20,000	
業務委託費	420,000	0	△ 420,000	
印刷費	100,000	97,240	△ 2,760	総会議案書等
交通費	1,300,000	1,801,643	501,643	理事会交通費他
顕彰費	80,000	36,546	△ 43,454	功労賞、奨励賞、永年職務者精励賞
広告宣伝費	70,000	66,000	△ 4,000	
消耗品費	10,000	22,200	12,200	
事務費	100,000	337,371	237,371	
支払手数料	10,000	285,890	275,890	会計事務所顧問料
ホームページ管理費	440,000	0	△ 440,000	
賃借料	1,400,000	960,000	△ 440,000	事務所家賃
雑費	10,000	289,778	279,778	
3. 事務所維持、取得積立金支出	0	300,000	300,000	特別会計積立金(事務所維持会計へ出金)
4. 備品購入積立支出	0	0	0	特別会計積立金
5. 予備費	8,625	0	△ 8,625	
予備費	8,625	0	△ 8,625	
支出合計	11,085,625	10,136,777	△ 948,848	
当期収支差額	0	3,847,550	3,847,550	
支出合計	11,085,625	10,136,777	△ 948,848	

一般会計正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日

(単位:円)

科目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A)－(B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1. 会費収入	5,307,000	5,319,000	-12,000
会員	4,487,000	4,459,000	28,000
賛助会員	820,000	860,000	-40,000
2. 入会金収入	22,000	23,000	-1,000
会員	22,000	23,000	-1,000
賛助会員	0	0	0
3. 事業収入	2,213,000	2,479,500	-266,500
広告料	594,000	526,000	68,000
会場整理費	383,500	751,000	-367,500
精度管理費事業	150,000	140,000	10,000
助成金	1,085,500	1,062,500	23,000
4. 寄付金収入	0	0	0
5. 雑収入	91,049	241,448	-150,399
預金利子	1,549	18	1,531
その他	89,500	241,430	-151,930
6. 事務所維持、取得積立金収入	6,351,278	2,001,101	4,350,177
経常収益計	13,984,327	10,064,049	3,920,278
(1) 経常費用			
事業費	5,016,754	5,020,080	-3,326
会議費	69,247	104,927	-35,680
事務費	66,652	74,436	-7,784
通信費	20,584	41,112	-20,528
材料費	801,158	1,156,090	-354,932
研修費	735,131	505,054	230,077
諸謝金	287,841	275,838	12,003
学会費	1,010,331	1,269,905	-259,574
講習会	0	0	0
負担費	70,000	50,000	20,000
印刷費	1,842,966	1,518,757	324,209
雑費	112,844	23,961	88,883
管理費	5,499,098	6,640,719	-1,141,621
給与手当	372,250	851,350	-479,100
福利厚生費	10,000	0	10,000
会議費	287,170	284,734	2,436
通信費	253,935	469,207	-215,272
印刷費	97,240	93,500	3,740
旅費交通費	1,801,643	1,900,186	-98,543
顕彰費	36,546	88,750	-52,204
広告宣伝費	66,000	66,000	0
消耗品費	22,200	3,525	18,675
事務費	337,371	230,941	106,430
支払手数料	285,890	12,100	273,790
減価償却費	679,075	736,084	-57,009
ホームページ管理費	0	8,224	-8,224
賃借料	960,000	1,457,000	-497,000
雑費	289,778	439,118	-149,340
事務所維持、取得積立金支出	300,000	0	300,000
経常費用計	10,815,852	11,660,799	-844,947
当期計上増減額	3,168,475	-1,596,750	4,765,225
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	2,433,775	-2,433,775
(2) 経常外費用	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,168,475	837,025	2,331,450
一般正味財産期首残高	4,218,296	3,381,271	837,025
一般正味財産期末残高	7,386,771	4,218,296	3,168,475
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
III 正味財産期末残高	7,386,771	4,218,296	3,168,475

一般会計貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額	
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,321,490		
前払金	9,680		
未収入金	62,000		
流動資産合計		6,393,170	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産			
什器備品	1,018,616		
有形固定資産合計		1,018,616	
2) 無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			7,411,786
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	25,015		
流動負債合計		25,015	
2. 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計		0	
負債合計			25,015
Ⅲ. 正味財産の部			
正味財産		7,386,771	
負債及び正味財産合計			7,411,786

一般会計財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額	
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
現金 現金手持有高	110,372		
銀行預金 普通預金	5,353,118		
郵便振替口座	858,000		
前払金(R7年度支出)	9,680		
未収入金(山臨技会費他)	62,000		
流動資産合計		6,393,170	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産			
什器備品	1,018,616		
有形固定資産合計		1,018,616	
2) 無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			7,411,786
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金(山臨技会費・入会金、広告料)	25,015		
預り金(会計事務所源泉分)	0		
負債合計	25,015		
負債合計		25,015	
Ⅲ. 正味財産の部			
正味財産		7,386,771	
負債及び正味財産合計			7,411,786

令和 6 年度特別会計決算報告

1. 事務所取得費、維持費の収入は一般会計からの繰入金と預金利子である。支出は事務所設備費や電気、水道等の事務所経費と、定期預金の解約による一般会計への繰入金である。
2. 北日本支部学会山形県開催準備費の収入は貯金利子である。支出はない。
3. 備品購入積立金の収入は預金利子である。

特別会計収支計算書

事務所取得費、維持費収支計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
I.収入の部				
繰入金収入	0	300,000	300,000	一般会計繰入金
雑収入	0	357	357	預金利子
当期収入合計(A)	0	300,357	300,357	
前期繰越収支差額	6,502,276	6,502,276	0	
収入合計(B)	15,786,602	6,802,633	△8,983,969	
II.支出の部				
事務所維持支出	1,122,000	6,506,230	5,384,230	
当期支出合計(C)	1,122,000	6,506,230	5,384,230	
当期支出差額(A)-(C)	△1,122,000	△6,205,873	△5,083,873	
次期繰越収支差額(B)-(C)	14,664,602	296,403	△14,368,199	

北日本支部学会山形県開催準備費収支計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
I.収入の部				
繰入金収入	0	0	0	
雑収入	0	69	69	預金利子
当期収入合計(A)	0	69	69	
前期繰越収支差額	4,063,032	4,063,032	0	
収入合計(B)	4,063,032	4,063,101	69	
II.支出の部				
東北学会準備支出	0	0	0	
当期支出合計(C)	0	0	0	
当期収支差額(A)-(C)	0	69	69	
次期繰越収支差額(B)-(C)	4,063,032	4,063,101	69	

備品購入積立会計(パソコン・ワープロ等購入積立会計)収支計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
I.収入の部				
繰入金収入	0	0	0	
雑収入	0	220	220	預金利子
当期収入合計(A)	0	220	220	
前期繰越収支差額	484,123	484,123	0	
収入合計(B)	484,123	484,343	220	
II.支出の部				
備品購入支出	0	0	0	
当期支出合計(C)	0	0	0	
当期支出差額(A)-(C)	0	220	220	
次期繰越収支差額(B)-(C)	484,123	484,343	220	

令和6年度事務所維持特別会計収支計算書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

収 入

(単位:円)

科 目	6年度予算額	6年度決算額	増 減	備 考
事務所維持管理費	162,000	154,160	△ 7,840	
管理費				
維持費	162,000	154,160	△ 7,840	事務所維持費より
収 入 合 計	162,000	154,160	△ 7,840	

支 出

(単位:円)

科 目	6年度予算額	6年度決算額	増 減	備 考
事務所維持管理費	162,000	154,160	△ 7,840	
事務費	84,000	69,985	△ 14,015	
コピー印刷費	84,000	69,985	△ 14,015	7,000円×12ヶ月
光熱費	78,000	84,175	6,175	
水道	30,000	25,740	△ 4,260	2,500円×12ヶ月
電気	48,000	58,435	10,435	4,000円×12ヶ月
設備費	0	0	0	
事務所設備	0	0	0	
雑費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
支 出 合 計	162,000	154,160	△ 7,840	

事務所取得費、維持費正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額	300,357		
2. 負債減少額	0		
増加額合計		300,357	
II. 減少の部			
1. 資産減少額	6,506,230		
2. 負債増加額	0		
減少額合計		6,506,230	
当期正味財産減少額			6,205,873
前期繰越正味財産額			6,502,276
期末正味財産合計額			296,403

事務所取得費、維持費貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	296,403		
流動資産合計	296,403		
2. 固定資産			
1) 有形固定資産			
有形固定資産合計	0		
2) 無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
固定資産合計	0		
資産合計			296,403
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
負債合計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			
負債および正味財産合計			296,403

事務所取得費、維持費財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
銀行預金	0		
定期預金	0		
労金	0		
ゆうちょ	0		
普通預金	296,403		
きらやか			
流動資産合計		296,403	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産			
有形固定資産合計	0		
2) 無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
固定資産合計	0		
資産合計		0	296,403
II. 負債の部			
流動負債	0		
負債合計	0		0
III. 正味財産の部			
正味財産			296,403

北日本支部学会山形県開催準備費正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額	69		
2. 負債減少額	0		
増加額合計		69	
II. 減少の部			
1. 資産減少額	0		
減少額合計			
2. 負債増加額	0		
減少額合計		0	
当期正味財産増加額			69
前期繰越正味財産額			4,063,032
期末正味財産合計額			4,063,101

北日本支部学会山形県開催準備費貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,063,101		
流動資産合計		4,063,101	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産			
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			4,063,101
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			
負債及び正味財産合計			4,063,101

北日本支部学会山形県開催準備費財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
銀行預金 荘内銀行定期預金	4,063,101		
流動資産合計		4,063,101	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			4,063,101
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			4,063,101

備品購入積立会計正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額	220		
2. 負債減少額	0		
増加額合計		220	
II. 減少の部			
1. 資産減少額	0		
2. 負債増加額	0		
減少額合計		0	
当期正味財産減少額			220
前期繰越正味財産額			484,123
期末正味財産合計額			484,343

備品購入積立会計貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	484,343		
流動資産合計		484,343	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産			
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			484,343
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III. 正味財産の部			
正味財産			
負債及び正味財産合計			484,343

備品購入積立会計財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
銀行預金 きらやか銀行	484,343		
流動資産合計		484,343	
2. 固定資産			
1) 有形固定資産	0		
有形固定資産合計		0	
2) 無形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			484,343
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			484,343

令和6年度備品台帳内訳明細書

機器	メーカー	規格	数量	保管場所	購入年度	購入価格	耐用年数	償却方法	R6償却費	R6期末残高	備考
A1サイズプリンター	EPSON	SC-T3250	1	事務所	平成29.10	208,980	5	定額法	0	1	
エアコン	三菱	MSZ-HXV71179	1	事務所	平成30.1	334,800	6	定額法	0	1	
ノートPC	mouse	m-BookB504H	1	HP委員会	平成30.2	148,392	6	定額法	0	1	
ノートPC	NEC	PC-N1535EAL	14	各部門	令和 4.10	2,511,600	4	定額法	627,900	941,850	
ノートPC	NEC	PC-N1570EAL	1	各部門	令和 4.10	204,700	4	定額法	51,175	76,763	
合計						3,408,472			679,075	1,018,616	

令和6年度監査報告

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

代表理事 植木 哲也 殿

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の職務執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告については、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 7年 4月 30日

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

監事 藤 地 功 祐 

監事 鈴木 めぐみ 

監事 伊藤 千代子 

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

代表理事 植木 哲也 殿

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の職務執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告及びその附属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

令和 7年 4月 30日

一般社団法人 山形県臨床検査技師会

監事 菊地 功祐 

監事 鈴木 めぐみ 

監事 伊藤 千代子 

第1号議案

令和7年度事業計画（案）

国家戦略としての「医療 DX」は、これまでデジタル化が遅れていた、保健、医療、介護の各段階でデジタル化を促進させ、患者がより良質な医療やケアを受けられるように、さらには医療従事者に新たな価値を提供できるように、社会や生活の形を変えることと一般的に定義されています。臨床検査の部門では検体検査の標準化だけでなく、私たち臨床検査業界全般的にその影響が及ぼされることは明白であり、いわゆる「臨床検査 DX」として益々加速することも安易に予想されます。（一社）山形県臨床検査技師会としても DX の波に乗り遅れることの無い様対応していく所存であります。また、日臨技では今年度予算編成の目玉として、物価高騰、郵送費、印刷費等諸般の値上げを考慮し、現在紙媒体で発行している医学検査と JAMT マガジンを 2026 年 1 月からデジタルブックに様式を変更し、年間 9000 万の経費圧縮を見込んでいます。山臨技においても公益目的支出計画の終盤を迎えたことからペーパーレス化・デジタル化を含めた適正予算執行について議論を進めていきます。目先の役員の成り手不足解消に向けて、中長期的な展望として 30 年 40 年先でも臨床検査技師として活躍できる場が、より広がり強固になるような組織づくり、人材育成についても議論を開始していきます。以下に事業計画（案）を記します。

- ①検査と健康展を通じ臨床検査技師の認知度向上に努めるとともに、中高校生向けに進路支援を行います。
- ②精度管理事業を通じ臨床検査技師の根幹であるデータの保障に努めます。質の高い外部精度管理を実施し、再構築された日臨技品質保証施設認証制度の普及に努めます。
- ③未来を担う次世代人材育成プロジェクト事業を推進します。
- ④タスク・シフト／シェアに関する厚生労働省指定講習会への受講促進、啓もう、助成を行います。

以降に各部、各委員会の詳細な事業計画（案）を掲載しました。公益目的支出計画に沿った予算（案）と合わせて慎重審議をお願いいたします。

庶 務 部

1. 技師会事業の円滑な遂行

他部門や各委員会と協力し、理事会・定期総会・学会の準備などを行う。

2. 技師会諸帳簿管理

各議事録や諸帳簿の管理を行う。

3. 一般社団法人としての管理

県や法務局に提出する必要書類の作成を行う。

4. 情報公開についての整備

1) 山臨技ニュース等の情報の発信やホームページを利用した求人・求職などの情報提供を引き続き行う。

2) 日臨技情報の発信を行う。

3) 連盟情報の発信を行う。

5. 情報網の整備と充実

山臨技におけるメーリングリストの更なる充実と連絡網の整備を行う。

6. 事務所取得・管理に係わる情報収集

7. Web 会議等の情報収集

会 計 部

1. 法人会計の整備

法人会計として複式簿記による帳簿整理を行い、明確な会計処理をする。

2. 円滑な会計処理

各事業部、委員会、学術研究部門、事務所と連絡を取り合い、事業を円滑に進められるように努める。

学 術 部

1. 部門長・分野長合同会議の開催

部門長・分野長合同会議を開催し、学術部各部門への予算配分、研修会の要件、精度管理、生涯教育研修制度、山形医学検査、及び公益事業協力等について討議検討する。

2. 第 44 回山形県医学検査学会への取り組み

今年度、置賜地区担当で開催予定である。学会企画部会議を開催し学会の方向性を検討するとともに、学会運営部と連携し協力しながら種々の業務に取り組む。

3. 各部門・分野及び各委員会への事業支援

部門長・分野長と連携し、会員の皆様が参加しやすい研修会の開催を目指す。日臨技認定制度の認定更新指定研修会の登録申請も随時行う。

精度管理委員会・データ標準化委員会に協力する。

「山形医学検査」発行へ協力する。

4. 学術部主催研修会の開催

学術部主催の研修会を企画し、知識の糧となるような研修、技師同士の交流の場を提供し、仲間づく

り、組織強化を目指す。

5. 学術部会議の開催

理事会終了後、必要に応じて随時開催する。

6. メーカー主催研修会への協力

メーカー主催で技師会共催または後援の研修会について、内容を吟味し理事会の承認を得たうえで協力する。

企 画 部

1. 全国「検査と健康展」の開催

日時、会場 未定

2. 関連団体への協力

「山形医学検査」編集委員会

1. 編集委員会の開催

企画、編集作業など、年3回程度開催する。

2. 「山形医学検査」の発行

「山形医学検査」を年3回発行する。

学術機関紙としての役割を重視し、研究論文を多く掲載する。

3. 「山形医学検査」の発行予定

VOL.34 No.2 令和7年8月 (会員名簿との合冊)

VOL.34 No.3 令和7年10月

(第44回山形県医学検査学会講演抄録集および精度管理報告書との合冊)

VOL.35 No.1 令和8年2月

4. その他

国立国会図書館および医学中央雑誌への「山形医学検査」の送付を行う。

生涯教育研修委員会

1. 研修会及び生涯教育対象行事の JAMTIS への行事登録並びに参加登録を行う。

2. 日臨技推進研修会の申請並びに採用された研修会の報告書及び決算書の提出を行う。

精度管理・データ標準化委員会

1. 精度管理事業

精度管理のさらなる向上を目的に継続的なコントロール・サーベイを実施する。

コントロール・サーベイを通し、県内各施設または会員一人一人の高いレベルでの標準化に寄与する。主な事業計画は以下の通りである。

令和7年5月 9日 コントロール・サーベイ参加申し込み締め切り

令和7年6月～7月 サーベイ試料・フォトサーベイCD発送作業

令和7年7月中旬 サーベイ試料測定・フォトサーベイ回答

(JAMTQC入力期間は例年同様入力期日を厳正に設定する)

令和7年7月～9月 サーベイ解析・評価（ホームページアップ含む）

令和7年10月 コントロール・サーベイ施設別報告書（総括・統計）

JAMTQC上で開示 精度管理報告書発行

令和7年12月上旬 精度管理報告会開催 会場：未定

令和8年2月 令和8年度JAMTQC使用申請

令和8年4月 令和8年度コントロール・サーベイ参加申し込み案内

2. データ標準化事業 品質保障施設認証を新規申請する施設の拡大に努める。

品質保証施設認証制度の啓蒙と申請拡大に努める。

共用基準範囲の採用施設拡大に努める。

ホームページ委員会

1. 会員の方々に情報源として活用され、利用しやすいホームページ制作を行う。
2. 各部門、各団体と連携しホームページによる情報発信を行う。
3. 臨床検査技師の地位向上に役立つような情報発信を行う。
4. 今年度中にホームページリニューアルを行う。

第2号議案

令和7年度一般社団法人山形県臨床検査技師会予算（案）

（収入の部）

1. 会費収入

会員会費 620 名で計算した。

賛助会員費 43 社で計算した。

2. 入会金収入

入会金収入は昨年度並みとした。

3. 事業収入

広告料：令和6年度決算を参考にした。

会場整理費：過去数年分の決算を参考にした。

精度管理事業：令和6年度決算を参考にした。

助成金：令和6年度決算を参考にした。

4. 寄付金収入

見込まない。

5. 雑収入

預金利子：昨年度並みとした。

6. 事務所維持、取得積立金収入

特別会計から備品購入準備金を繰り入れた。

（支出の部）

1. 事業費

各部、各委員会の事業計画と過去数年分の決算を参考に、予算内で割り振りを行った。

2. 管理費

令和6年度の決算を参考にした。会計事務所への一部業務委託費と専門業者への山臨技ホームページの更新、管理維持費を再計上した。

3. 予備費

事業費、管理費が不足した際、またその他必要時に用いる。

令和7年度 一般社団法人山形県臨床検査技師会予算(案)

収入額	14,933,175 円	自 令和 7年4月 1日
支出額	14,933,175 円	至 令和 8年3月31日
差引額	0 円	

収入

(単位:円)

科 目	6年度予算額	7年度予算額	増減	備考
1.会費収入	5,200,000	5,200,000		
会員	4,340,000	4,340,000		620名×7,000円
賛助会員	860,000	860,000		43口×20,000円
2.入会金収入	15,000	15,000		15名×1000円
会員	15,000	15,000		
賛助会員	0	0		
3.事業収入	2,350,000	2,350,000		
広告料	650,000	550,000	△100,000	会誌広告料
会場整理費	500,000	600,000	100,000	学会・研修会参加費など
精度管理事業費	100,000	100,000		精度管理参加費
助成金	1,100,000	1,100,000		公益目的事業、生涯教育助成金
4.寄付金収入	0	0		
寄付金	0	0		
5.雑収入	20	20		
預金利子	20	20		
雑収入	0	0		
6.事務所維持、取得積立金収入	1,000,000	1,000,000		繰り入れ
当期収入合計	8,565,020	8,565,020		
7.前期繰越収入差額	2,520,605	6,368,155	3,847,550	繰り越し
前期繰越収入差額	2,520,605	6,368,155	3,847,550	
収入合計	11,085,625	14,933,175	3,847,550	

支出

(単位:円)

科 目	6年度予算額	7年度予算額	増減	備考
1.事業費	5,337,000	6,022,000	685,000	
1)衛生思想の普及及び啓発	235,000	235,000		
(1)衛生思想普及啓発事業費	235,000	235,000		
会議費	50,000	50,000		
活動費	175,000	175,000		地区運営費
事務費	15,000	15,000		
通信費	10,000	10,000		
材料費	0	0		
研修費	100,000	100,000		三区連携強化費
諸謝金	50,000	50,000		
印刷費	5,000	5,000		
雑費	5,000	5,000		
2)臨床検査技術を通じ、保健事業、健康保持・増進事業への協力	225,000	565,000	340,000	
(1)地域保健事業費	225,000	565,000	340,000	
会議費	25,000	25,000		
活動費	140,000	480,000	340,000	
事務費	10,000	10,000		保健事業連携強化費
通信費	10,000	10,000		
材料費	10,000	10,000		
研修費	100,000	440,000	340,000	臨床検査展
諸謝金	10,000	10,000		
講習会(日臨技より各県)	0	0		
負担費	50,000	50,000		関連団体協賛費 講習会補助
印刷費	0	0		
雑費	10,000	10,000		
3)臨床検査の精度管理に関する調査・研究・解析	1,268,000	1,268,000		
(1)精度管理事業費	1,268,000	1,268,000		
会議費	5,000	5,000		
活動費	1,250,000	1,250,000		
事務費	40,000	40,000		
通信費	30,000	30,000		
材料費	1,000,000	1,000,000		サーベイ試料
研修費	170,000	170,000		精度管理報告会
諸謝金	10,000	10,000		
印刷費	3,000	3,000		
雑費	10,000	10,000		

科 目		6年度予算額	7年度予算額	増減	備考
4) 臨床検査に関する学術研究、研修及び広報活動		1,984,000	2,029,000	45,000	
(1) 学術研究事業費		1,880,000	1,925,000	45,000	
	会議費	50,000	50,000		学術部部門分野長会議
	活動費	610,000	650,000	40,000	部門分野活動費
		事務費	100,000	100,000	学術部門連携強化費
		通信費	10,000	10,000	
		材料費	200,000	240,000	40,000
		研修費	100,000	100,000	
		諸謝金	200,000	200,000	
	学会費	1,200,000	1,200,000		県学会
	印刷費	19,000	20,000	1,000	
	雑費	1,000	5,000	4,000	
(2) 生涯教育研修事業費		104,000	104,000		
	会議費	2,000	2,000		
	活動費	102,000	102,000		
		事務費	1,000	1,000	
		通信費	1,000	1,000	
		材料費	0	0	
		研修費	80,000	80,000	タスクシフト講習会会費補助
		諸謝金	20,000	20,000	
	印刷費	0	0		
	雑費	0	0		
5) 機関誌及び会報の発行					
(1) 会誌事業費		1,625,000	1,925,000	300,000	
	会議費	15,000	15,000		
	活動費	10,000	10,000		
		事務費	5,000	5,000	
		通信費	5,000	5,000	
		材料費	0	0	
		研修費	0	0	
		諸謝金	0	0	
	印刷費	1,600,000	1,900,000	300,000	山形医学検査
	雑費	0	0		
6) その他本会の目的を達成するために必要な事業					
2. 管理費		5,740,000	6,551,495	811,495	
	給与手当	1,000,000	1,000,000		事務員給与
	福利厚生費	30,000	50,000	20,000	慶弔費、保険料等
	会議費	250,000	300,000	50,000	三役会議、総会費
	通信費	500,000	800,000	300,000	郵送費、ネット使用料、イベントペイ
	災害システム構築費	20,000	170,000	150,000	災害対策連絡網
	業務委託費	420,000	300,000	△120,000	会計事務所委託費
	印刷費	100,000	110,000	10,000	技師会封筒、総会議案書等
	交通費	1,300,000	1,700,000	400,000	理事会交通費他
	顕彰費	80,000	80,000		功労賞、奨励賞、永年職務者精励賞
	広告宣伝費	70,000	70,000		
	消耗品費	10,000	10,000		
	事務費	100,000	100,000		
	支払手数料	10,000	10,000		
	ホームページ管理費	440,000	440,000		改修・維持費
	賃借料	1,400,000	1,400,000		家賃・光熱費など
	雑費	10,000	11,495	1,495	
3. 事務所維持、取得積立金支出		0	197,680	197,680	特別会計積立金
4. 備品購入積立支出		0	2,155,000	2,155,000	公益目的支出計画に基づいた積立金
5. 予備費		8,625	7,000	△1,625	
	予備費	8,625	7,000	△1,625	
支出合計		11,085,625	14,933,175	3,847,550	
当期収支差額		0	0		
支出合計		11,085,625	14,933,175	3,847,550	

第3号議案

令和7・8年度一般社団法人山形県臨床検査技師会役員改選（案）

	名前	施設名
山形県臨床検査技師会役員推薦委員	金子 紀子	山形県立河北病院（新任）
山形県臨床検査技師会役員推薦委員	加藤 邦子	山形市立病院 済生館（新任）
山形県臨床検査技師会役員推薦委員	吉澤 哉	山形徳洲会病院（再任）
山形県臨床検査技師会役員推薦委員	齋藤 裕紀	日本海総合病院（再任）
山形県臨床検査技師会役員推薦委員	高橋 郁子	公立置賜南陽病院（新任）

第4号議案

その他

公開講演

「 頭痛について ～院内頭痛外来の取り組み～」

鶴岡市立荘内病院

内科系診療部長兼中央検査科長

丸谷 宏 先生

司会：一般社団法人山形県臨床検査技師会

会長 植木 哲也